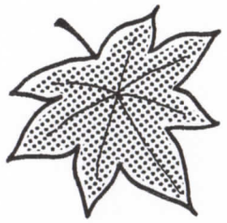

ゆとりの会だより

西東京ゆとりの会（認知症の家族会）会報　　２０１７．１１月

ゆとりの会の皆さん、こんにちは。お元気ですか？　１０月は、思いのほか雨の日が多く、冬のように寒い日もありました。風邪などひかれなかったでしょうか？　大型台風は各地で被害をもたらしましたが、皆様のお宅は大丈夫でしたか？　嵐が過ぎ去り、やっと青空と太陽が戻ってきました。

さて、１０月は急な選挙で、場所の変更がありましたが、１１月は、市役所田無庁舎です。当日は秋晴れとなることを祈ってお待ちしています。

１１月のゆとりの会のお知らせ

日時　　１１月８日（水）午後１：３０～３：３０
場所　　市役所田無庁舎　２０３会議室
内容　　懇談、情報交換

１０月の会より

◆会長より；①ゆとりの会は、今春から「ゆめこらぼ」という団体に登録しました。団体の依頼により「ゆめこらぼ通信」にゆとりの会の活動紹介と写真を載せることになりましたので、ご了承ください。②来年１月２０日、２１日に、アスタセンターコートで行われる「NPO 市民フェスティバル」に展示で参加したいと思いますが、いかがでしょうか？との問いかけと、パネルに貼る会員の皆様の「ゆとりの会」に対する声を一言ずつ（ポストイット７５㎜×７５㎜大）載せたいので、ご協力をお願いしたいとの話がありました。

◆田村より；配布資料４枚。①「認知症とともに暮らす」１０月３１日、コール田無２時より。②「認知症になった波平さん」１０月３１日、こもれびホール２時より。③認知症ケアの意思疎通法「ユマニチュード」の新聞コピー。④緑寿園広報誌のケアラーズカフェの紹介が載ったもの（その中に会員のやっている「仙人の家」の紹介あり）を配布しました。社協で行うバザーのお手伝いについても呼びかけました。その他、色々な情報をファイルに入れ回覧。その中の、３時間の入浴専門デイサービス「いずみスパ」の紹介をしました。（問い合わせは田村へ）

◆私の悩みの８割は奥様の入浴と言うご主人は、週１回別のデイサービスを利用したところ、１回目は足浴だけだったが、２回目に入浴に成功したとのことでした。「一人で悩んでいたのでほっとした」との言葉に私たちも嬉しくなりました。

◆亡くなったご主人が以前、今（上記の）話に出たデイに通っていたので、現在そのデイでボランティアをしているという奥様は、スタッフがずっと変わってないことと、お風呂へ誘導するのもすごく上手と教えてくださった。「ボランティアはつくづく自分のためと思う」とも話されていた。

◆８月にご病気で入院されていたという、奥様を亡くして３年のご主人は、奥様のことが、何かあると脳裏に浮かび、「認知症はこれから増えるが、この会は家族の相談相手になり、益々必要、経験が唯一の力となる」とおっしゃっていた。

◆同じく、奥様を亡くして１１月で３年というご主人は、介護した方でないとわからない話をゆとりの会で聞いた。何回か妻が夢に出てきた。孫が仏壇に話しかけるのを見ていると「あぁいいおばあちゃんだったのだなー」と思うと話された。

◆お母様が１０月の誕生日で８５才になるという息子さんは、グループホームに面会に行った時、本人も調子が良く表情も良かったとのことだった。

◆介護認定を受け介護１になったというご主人を看ている奥様は、もともと風呂好きだったというご主人が、お風呂に入らないことと、薬を飲まないことを悩まれていました。奥様は「自分の時間が持てないのが辛い、イライラする」とおっしゃっていました。

◆久しぶりに来てくださった方は、ご両親を看取られている娘さんですが、今、お友達の話を聞いて、自分の時を思い出すとおっしゃり、「当事者と周りとは温度差がある」と話された。

◆ご主人の事、お母様との事、息子さんとの事と３つの問題に関わり、三重苦とおっしゃる奥様は、今は、優先順位は息子さんとのことだった。ご主人ともめても最終的には仲直りできているようです。「この会に来て、言いたいことを言うとスッキリする」とおっしゃっていました。又スッキリしに来てください！

◆お母様の事と、息子さんの事で悩まれているという方も、今は優先順位を考えたら息子とおっしゃっていた。「この会に来るとこういうこと（息子さんのこと）も話せる（ので良かった）」とのことだが、以前は「ここに来ることが辛かった時期もあった」と正直に話してくださった。「今は来ることが辛くなくなった」「走り回っていると手を貸して下さる方が出てくる」という言葉に、こちらも嬉しくなりました。会員一人ひとりの悩みは違いますが一緒に考えて行きましょう！！

（文責 田村）